
インジュアリー ライフ

空の歯車

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

インジュアリー ライフ

【Nコード】

N9066Y

【作者名】

空の歯車

【あらすじ】

中学3年生の時に右目に傷を負い、片目の少年となってしまう坂上 享さかがみ じょうなんと彼が入った高校は人生の中で深い体や心の傷を負ってしまった者だけがいる病人学校だった。享と周りの仲間たちがくり広げるラブコメディ！

エピソード

高校の受験から数日が立ち、俺は高校へ登校していた。桜が木から舞い散っていた。

「いよいよ新学期か…面倒臭いな。」そんな事を言いながら道を歩いて行く内に着いた。

今日からここが俺の通う所…そもそもこの高校は家から10分ほどで着くから登下校は楽なのである。親や中学の教師にそう言っただけを受験した。この高校はそれなりにレベルが高いので不安がられていたが見事に合格した。しかも余裕で。と、まあ自慢とかはせずに早く校門をくぐろう。

校門をくぐると、校舎や体育館が見えた。それなりに設備はいいようだ。食堂にはクラス分けの表が書かれてあった。人混みが出ていたが気にせず表を見た。「えーと、1年8組か。」そう納得し、クラスに向かった。人混みの中には同じクラスになれたようでキヤピキヤピしている女子や腕を組み合っている男子がいた。

クラスまでゆっくり歩き、ようやく着いた。席について周りを見渡すと友達はおるか知り合いすらいなかった。などとしている内にチャイムが鳴った。担任らしき教師が入ってきた。「えー、皆さんご入学おめでとうございます。私は今日からこのクラスの担任になる九重このえ 大地だいちと申します。担当教科は化学です。皆さん、一年間よろしく願います。」と、ペコリと頭を下げた。九重先生は

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9066y/>

インジュアリー ライフ

2011年11月27日03時09分発行